

「イノベーションを起こす組織作り」とは、
具体的に何をすればよいのか？

会社紹介

自己紹介

本セミナーの目的

イノベーションの仕組みについて

効果的なイノベーション・マネジメントシステム

IDEASCALEについて

事例

当社のサービス

ごあいさつ

ごあいさつ



私たち、システムコンシェルジュは「人」と「信頼」を最も大切にする会社です。決して自分たちだけの成長を追い求め、利益を追求するのではなく、常にお客さまのお困りごとに耳を傾け、お客さまとともに解決していくことで、エンジニアをはじめとする私たちのチームは成長します。その結果、お客さまに継続して価値を提供するイノベーションを実現し、関係する人々が幸せになるようなエコシステムの実現をめざします。

エンジニアとお客さまが幸せになれる会社へ

代表取締役
飯田 健夫

A stylized, handwritten signature in black ink that reads "T. Iida".

会社概要

会社概要

会社名	株式会社システムコンシェルジュ	設立	2005年7月26日
代表取締役	飯田 健夫	資本金	1,000万円
所在地	東京都千代田区神田錦町2-11-7	従業員数	45名（役員・従業員・契約社員含む）
TEL	03-5577-5735	事業内容	・イノベーション創出・組織文化醸成事業 ・ビジネスプロセスアウトソーシング（BPO）事業 ・ジェネレーティブプロバイダー事業
拠点	大阪オフィス 大阪府大阪市北区梅田2丁目5番8号 千代田ビル西別館3階G号室 宮古島オフィス 沖縄県宮古島市平良字西里1018番地1 マティダヒルズ102号	主な取引先 （50順）	株式会社エヌオーイー 株式会社飯田産業 岐阜女子大学 株式会社SOYOKAZE 株式会社スコープ 田島ルーフィング株式会社 TIS株式会社 株式会社ヒューマントラスト 株式会社阪急交通社 株式会社マクシスコポーレーション メディカル・データ・ビジョン株式会社 株式会社ユニマットライフ
福利厚生	関東ITソフトウェア健康保険組合 福利厚生サービス：リロクラブ オフィス内：リフレクソロジー/カイロプラクティック/ロルフイング/コーヒー無料 退職金制度		

当社の強み

当社の強み



IT Infrastructure (IT基盤技術)

堅牢なIT基盤がなければアプリケーションを稼働させることはできません。私たちはThe Linux Foundationを支援する日本を代表するエンジニアを技術顧問とし、最新のIT技術を求めつつ、過去の技術にも目を向けお客さまが求める最適な技術の探求とサービス提供を行います。

IT Tools (先進的なツール活用)

変化に素早く対応するには、活用できる技術やツール、ライブラリなどを知り、実際に利用することが重要です。私たちはITツールや技術を探求し、実際に体感することで最高のサービスが提供できると考えています。私たちの社内では多くのツールを活用しています。

IT Practices (成功と失敗によって研鑽される方法論)

ツールや技術自体は価値とはいえません。価値を感じてくれるお客さま、喜んでくれる方々がいて価値に変えることができます。予測不可能な社会のなかで継続的な価値を提供するために、日本初の国際標準企画ISO56002 (イノベーション・マネジメントシステム) の認証を取得し、他では実践していないイノベーションの仕組みを作りました。この仕組みや方法論をお客さまへサービス提供し、「私たちからお客さまへ」「お客さまから私たちへ」それが私たちの考えるチームワークと価値あるサービスの方法論です。

当社の強み

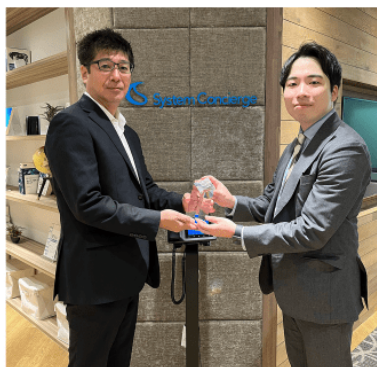
日本初のISO56002、及びISO56001の認証取得



イノベーションの国際標準規格「ISO56001」とは

「ISO56001」は、世界中のイノベーションを起こした企業のマネジメント手法を分析し、考え方や方法論を標準化したイノベーション・マネジメントシステムの国際標準規格です。新しい価値を創出し、価値の継続と向上を実現するためのガイドラインです。

人材育成・組織開発に関するアワード受賞



ラーニングイノベーションアワード2023】とは

人的資本情報の開示が義務化され、人的資本経営への注目が日々高まる中、多くの日本企業が人材投資による取り組みを加速しています。ALL DIFFERENT株式会社は、人材育成に取り組む企業に様々な事例を紹介し、新たな知見や視点を提供するために、年に一度「ラーニングイノベーションアワード」を開催し、人材育成・組織開発において優れた取り組みを行っている企業を表彰しています。ラーニングスパイラル賞は、「気づく」「学ぶ」「できる・変わる」「続ける」の全ステップを構築し、実効を上げている企業に授与されます。

主要な顧客

旅行・観光業界



金融・保険業界



製造業界



介護・ヘルスケア業界



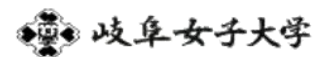
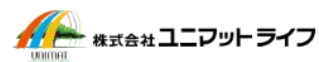
広告・メディア業界



IT業界



その他、人材派遣・飲食など



地方自治体



4つの事業内容

お客様の
経営課題

対話・共感
調査・検証

最適な解
決方法

継続可能
な運用

ジェネレーティブプロバイダー事業

ジェネレーティブプロバイダーとは、課題となるキーワードを伝えるだけで、解決策や最適なITツールの選定、導入から運用まで支援できる「コンサル能力を持つITプロバイダー」のことです。私たちは豊富な知識と経験で、信頼されるITサービスを提供します。

デジタルトランスフォーメーション事業

予測困難なビジネス環境でも継続的な成長を実現するDX化に必要な3つの要素について、最適なITツールでDX化を実現します。

- データの蓄積と分析基盤
- プロセスの自動化、データ連携
- イノベーション管理/プロジェクト管理/ナレッジ管理

ITインフラエンジニアリング事業

可用性・完全性・機密性が確保されたIT基盤によって、お客さまは継続的にITサービスが利用できます。私たちのセキュリティ、ネットワーク、データ保護、稼働監視などの基盤技術によってお客さまの継続的なビジネスとITサービスを支えます。

ビジネスプロセスアウトソーシング事業

お客さまのIT運用業務の深刻な人材不足を私たちの専門チームが支援します。お客さまがIT戦略機能を取り戻し、IT資産管理やヘルプデスク、PCキittingなどの実作業領域を当社の専門チームが行います。ホスピタリティを重視した私たちのサポート力を実感してください。

最適な方法 (Process)

各種マネジメントシステム

(ITサービス管理、イノベーション管理、ナレッジ管理、プロジェクト管理、セキュリティ管理、人工知能 (AI) 管理など)

フレームワーク / ガイドライン

(Scaled Agile Framework®, ISO56002/ISO56001、ISO30401、ISO9001、ISO42001、ISMS、セキュリティ基準など)

経験・実績

(統合基幹業務システム、ビジネスインテリジェンス (BI)、文書情報管理、グループウェア、セキュリティなど)

高い技術力 (Technology)

ハードウェア (サーバー、ネットワーク機器・無線LAN、PC、PBX、IP電話など)

ソフトウェア (OS、アプリケーション、データベース、ミドルウェアなど)

セキュリティ

(ネットワーク/エンドポイント/SASE/ゼロトラスト/アプリケーションセキュリティなど)

デジタルトランスフォーメーション

(RPA、iPaaS、DWH、BI、生成AI、テキストマイニングなど)

信頼される人 (People)

プロジェクトマネジメント力 (アジャイル・スクラム、ウォーターフォールなど)

イノベーション力 (イノベーション国際資格、イノベーションプロフェッショナル資格など)

技術力 (AWS資格、Oracle資格、LPIC/LinuC資格、CCNA資格、その他IT関連資格など)

業務理解力 (簿記、販売士、旅程管理主任者、社労士、その他業務資格など)

デジタルトランスフォーメーション事業

予測困難なビジネス環境でも継続的な成長を実現するDX化に必要な3つの要素について、最適なITツールでDX化を実現します。

- データの蓄積と分析基盤
- プロセスの自動化、データ連携
- イノベーション管理/プロジェクト管理/ナレッジ管理

デジタルトランスフォーメーション(DX)

新しい価値の創造と創出
継続的な成長とカイゼン

データ蓄積と分析基盤

分析レポート・BIツール



データ基盤 / 分析レポート



プロセスのデジタル化

エンタープライズ・ワークフロー

MAJOR FLOW

業務の自動化 : RPA

BizRobo!

ローコード・プラットフォーム



イノベーション管理

イノベーション管理のデファクトスタンダード



ナレッジ管理



プロジェクト管理



デジタルトランスフォーメーション事業

予測困難なビジネス環境でも継続的な成長を実現するDX化に必要な3つの要素について、最適なITツールでDX化を実現します。

- データの蓄積と分析基盤
- プロセスの自動化、データ連携
- イノベーション管理/プロジェクト管理/ナレッジ管理

デジタルトランスフォーメーション(DX)

新しい価値の創造と創出
継続的な成長とカイゼン

データ蓄積と分析基盤

分析レポート・BIツール



データ基盤 / 分析レポート



プロセスのデジタル化

エンタープライズ・ワークフロー

MAJOR FLOW

業務の自動化 : RPA

BizRobo!

ローコード・プラットフォーム



イノベーション管理

イノベーション管理のデファクトスタンダード



ナレッジ管理



プロジェクト管理



デジタルトランスフォーメーション事業

予測困難なビジネス環境でも継続的な成長を実現するDX化に必要な3つの要素について、最適なITツールでDX化を実現します。

- データの蓄積と分析基盤
- プロセスの自動化、データ連携
- イノベーション管理/プロジェクト管理/ナレッジ管理

デジタルトランスフォーメーション(DX)

イノベーション管理

ISO56001コンサルティングサービス

国内初のISO56002/ISO56001の両方を取得した株式会社システムコンシェルジュが、現状分析アセスメント、マニュアル、規定などの文書類、運用開始時に必要な力量などを行い、適合表を発行します。企業におけるイノベーション機能の検査に最適なサービスです。

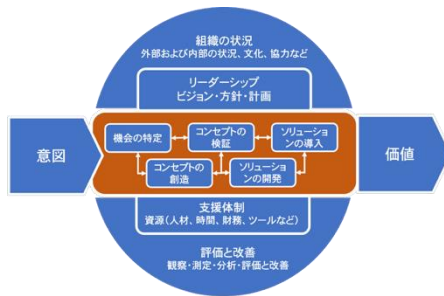
イノベーション管理ツール導入サービス

米国のイノベーション活動を2008年から現在まで支えているイノベーション管理ツール『IDEASCALE』の導入支援サービス。その他、プロジェクト管理、ナレッジ管理の導入支援サービスも提供。

イノベーション組織変革支援サービス

イノベーション組織への変革には、仕組み(制度)と役割、権限に適合したヒトの思考(リテラシー)が必要不可欠です。そのための人的力量を高めるための教育講座を提供しています。

- ・GIMI イノベーション国際認定資格取得講座
- ・エフェクチュエーション基礎講座



イノベーション管理のデファクトスタンダード



ナレッジ管理



プロジェクト管理

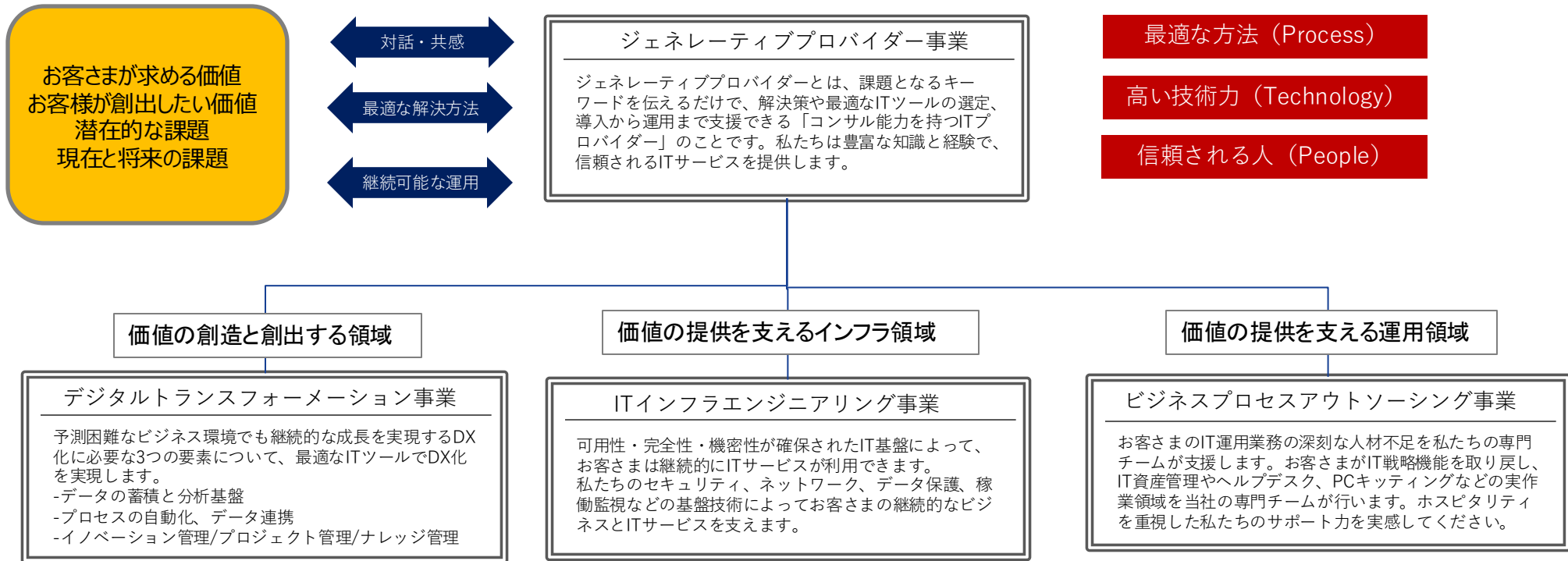


国際的なイノベーション方法論



国際的なイノベーション思考法：エフェクチュエーション

ジェネレーティブ・プロバイダー（価値創出型（Generative）ITサービス企業のこと）

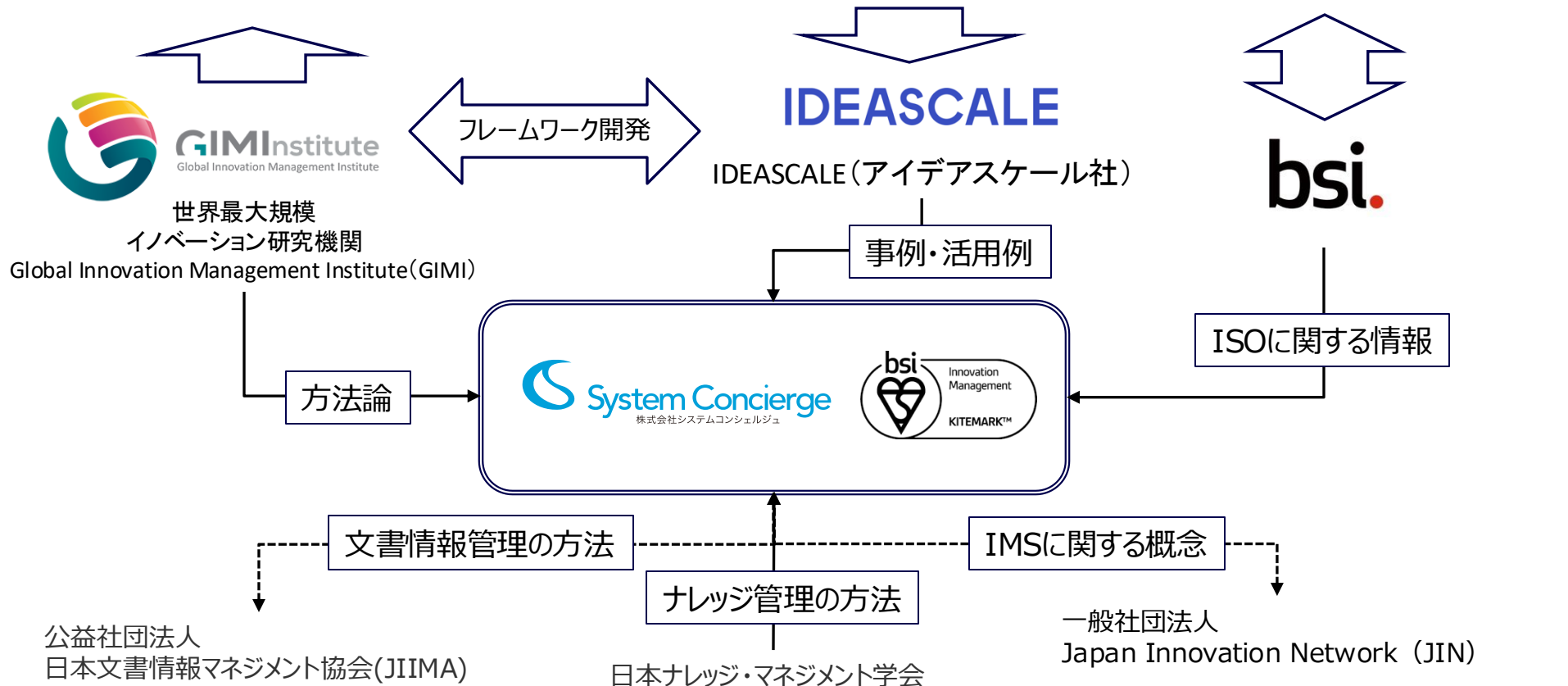


イノベーション・マネジメントシステムに関する関係チャネル

ISO56001 / ISO56002策定への協力

イノベーション活動に関する事例

ISO56001/ISO56002認証審査



会社紹介

自己紹介

本セミナーの目的

イノベーションの仕組みについて

効果的なイノベーション・マネジメントシステム

IDEASCALEについて

事例

当社のサービス

自己紹介



大塚 和彦（おおつか かずひこ）

株式会社システムコンシェルジュ
取締役 兼 Chief Innovation Officer

略歴

1967年、埼玉県生まれ。幼少期にゲームを禁止され、どうしてもゲームがやりたいのでアセンブラ言語とBASIC言語でゲームプログラムの開発を行う。大学卒業後、営業職を希望し、リコー情報システム株式会社（現リコージャパン）に入社。MA事業部にて、主に新規顧客開拓、新規事業立ち上げに関わる。その後も数社に転職し、ほとんどが新規顧客開拓、新規事業立ち上げに関わる経験をもつ。

2023年4月、株式会社システムコンシェルジュに入社し、イノベーション活動（事業創出など）を行いながら、業務・インフラ・アプリケーションなど多種多様な経験から、お客さまのお悩みを解決するコンシェルジュとして活動を行なっている。

20代：新卒から入社2年目頃から新規事業や新規顧客、新しいソリューション創造に関わる

30代前半：家業の製麺会社にてラーメン店、中華料理店に食材を提供

30代後半：大手SI関連会社にて新規顧客、新規事業に関わる

40代前半：海外製品の日本法人立ち上げ、および別会社の新規事業の立ち上げ

40代後半：大手SI会社のオープンソース事業に関わる

50代前半：2019年2月にIPOしたプロジェクト管理／ナレッジ管理の会社に関わる

現在：新規事業、新規顧客、IPOなどの経験を活かし、イノベーション管理ツールをベースとした価値創造の仕組みや方法論のサービス提供

スピーカー紹介

大塚 和彦 (おおつか かずひこ)



株式会社システムコンシェルジュ
取締役 兼 Chief Innovation Officer

略歴

1967年、埼玉県生まれ。大学卒業後、営業職を希望し、リコー情報システム株式会社（現リコージャパン）に入社。MA営業部に在り、主に新規顧客開拓、新規事業立ち上げに関わる。その後も数社にて営業職に携わり、営業に関する経験をもつ。

新規事業開発 / 新規顧客開拓

ナレッジ管理

文書情報管理

プロジェクト管理

事業継続

イノベーション・マネジメントシステム

20代：新卒から入社2年目頃から新規事業や

30代前半：家業の製麺会社にてラーメン店、中華料理店に食材を提供

30代後半：大手SI関連会社にて新規顧客、

40代前半：海外製品の日本法人立ち上げ、お

40代後半：大手SI会社のオープンソース事業に関わる

50代前半：2019年2月にIPOしたプロジェクト管理／ナレッジ管理の会社に関わる

現在：新規事業、新規顧客、IPOなどの経験を活かし、イノベーション管理ツールをベースとした
価値創造の仕組みや方法論のサービス提供

会社紹介

自己紹介

本セミナーの目的

イノベーションの仕組みについて

効果的なイノベーション・マネジメントシステム

IDEASCALEについて

事例

当社のサービス

本セミナーの目的

1. イノベーションの仕組みの必要性を理解
2. イノベーション・マネジメントシステム（IMS）の概要の理解
3. イノベーション・マネジメントシステム（IMS）の効果の理解
4. 株式会社システムコンシエルジュのサービスの理解

会社紹介

自己紹介

本セミナーの目的

イノベーションの仕組みについて

効果的なイノベーション・マネジメントシステム

IDEASCALEについて

事例

当社のサービス

イノベーションの仕組み について

イノベーションとは

イノベーション・マ
ネジメントシステム
とは

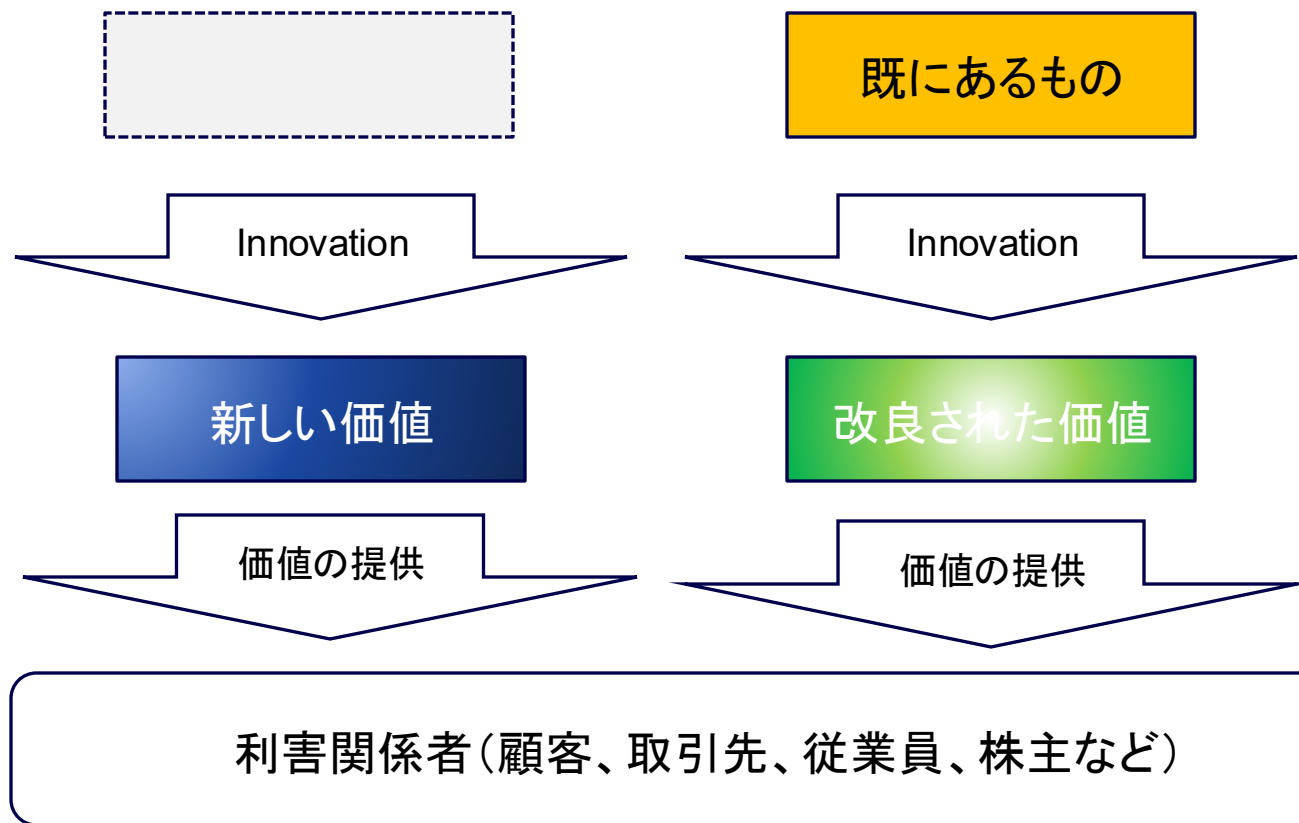
わかっているもでき
ない理由

検査・分析が必要

イノベーションとは

イノベーションとは

イノベーション (innovation) とは、価値を創出する新しいものを実現すること。
“new or changed entity realizing or redistributing value.”



イノベーションの仕組み について

イノベーションとは





イノベーション・マ
ネジメントシステム
とは

わかっているもでき
ない理由

検査・分析が必要

イノベーションの分類

オスロマニュアル（※）に記載される4つのイノベーション分類

プロダクト・イノベーション 新しい商品・サービス（技術革新）や既存の商品・サービスを改善して市場に投入すること		プロセス・イノベーション 製造、流通の仕組みを新しく、または既存のものを改善して導入すること	
組織イノベーション 新しい価値を生み出すためにふさわしい組織のマネジメント方法を導入すること		マーケティング・イノベーション 新しい顧客の開拓方法や販売方法を生み出すこと	

イノベーションの対象は、製品・サービスだけではない

オスロ・マニュアル（Oslo Manual）とは、
各国のイノベーション活動を比較・分析するための国際的な指針を示した文書です。
正式名称は「Guidelines for Collecting, Reporting and Using Data on Innovation（イノベーションに関するデータ収集・報告・活用のためのガイドライン）」です。

イノベーションの仕組み について

イノベーションとは

イノベーション・マ
ネジメントシステム
とは

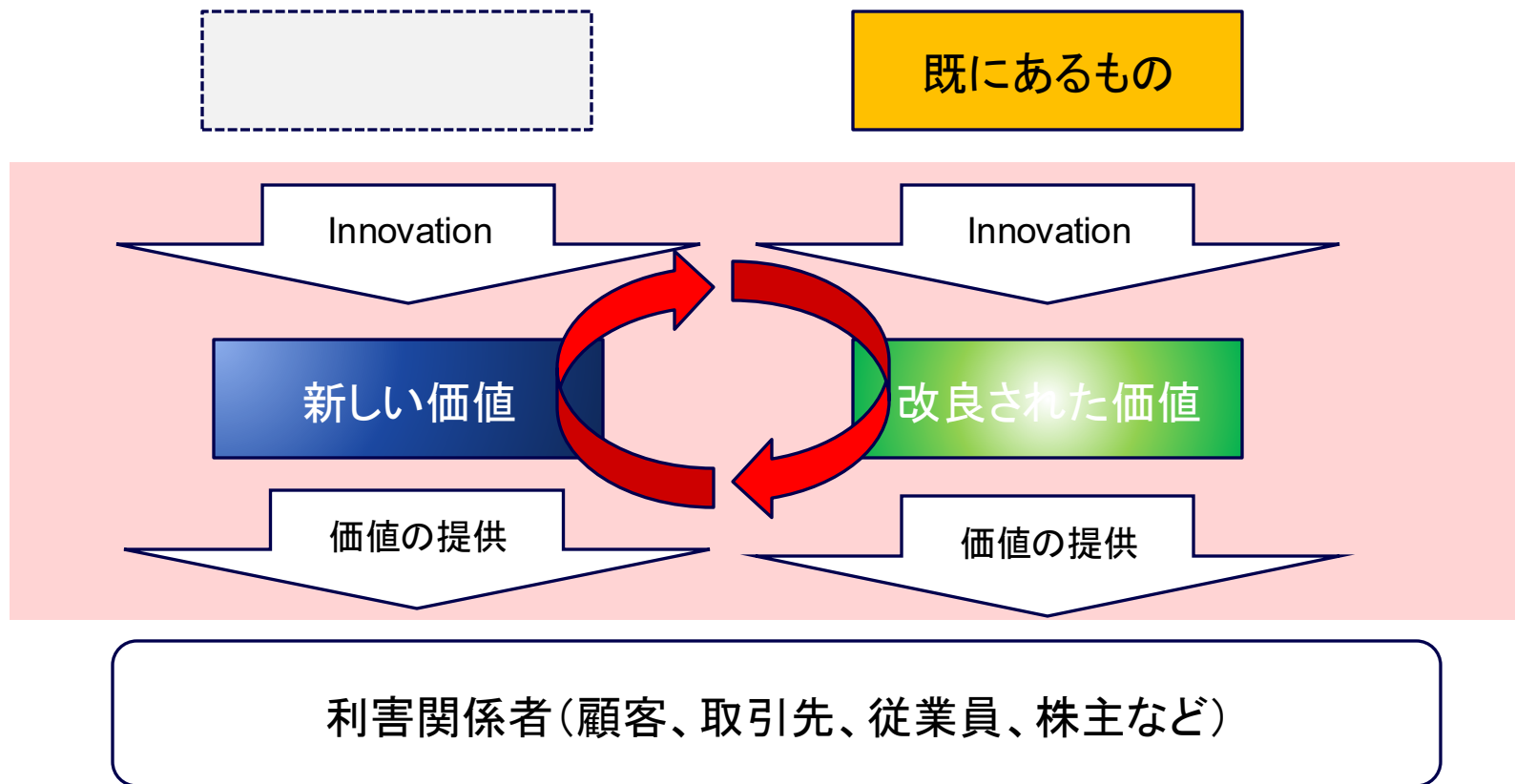
わかっているもでき
ない理由

検査・分析が必要

イノベーション・マネジメントシステムとは

イノベーション・マネジメントシステムとは

組織が継続的かつ体系的にイノベーションを創出・実現するための仕組みです。
イノベーション活動を「偶然」ではなく「仕組み」として実現するためのマネジメント手法です。



イノベーションの仕組み について

イノベーションとは

イノベーション・マ
ネジメントシステム
とは

わかっているもでき
ない理由

検査・分析が必要

イノベーション・マネジメントシステムによって得られる9つの効果

分類	得られる効果	説明
① 価値創出	価値の実現	新しい製品・サービス・プロセス・モデル等を通じて組織と利害関係者へ価値を提供
② パフォーマンス向上	イノベーションの取り組みの成果向上	不確実性下でもイノベーション活動を体系的に管理し、成功率を高める
③ 能力構築	イノベーション能力の持続的強化	組織内に知識やプロセスを蓄積し、継続的な革新が可能に
④ レジリエンス	環境変化への対応力・進化力の向上	動的で不確実な環境に柔軟に適応できる組織になる
⑤ 評判	組織のブランド価値・信頼性の向上	顧客・社員・パートナーからの魅力や信頼が向上
⑥ 協業	コラボレーション能力の向上	バリューチェーンやイノベーションエコシステムでの共創がしやすくなる
⑦ 資金調達	資金・投資を受けやすくなる	投資家や助成機関に対してイノベーション能力を体系的に示せる
⑧ 意思決定	情報に基づいた意思決定の質向上	戦略的インテリジェンスなどにより、判断力が強化される
⑨ コンプライアンス	規制・法対応の強化	組織内のプロセスが整い、内部統制や法規対応が容易になる

イノベーションの仕組みについて

わかってもできない理由

多くの企業は、イノベーションの必要性を感じています。

イノベーションとは

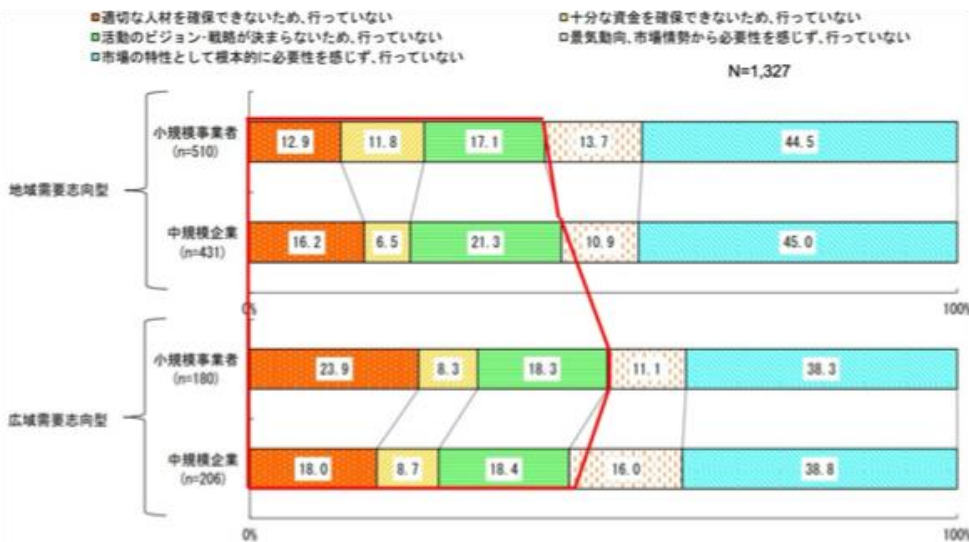
イノベーション・マネジメントシステムとは

わかってもできない理由

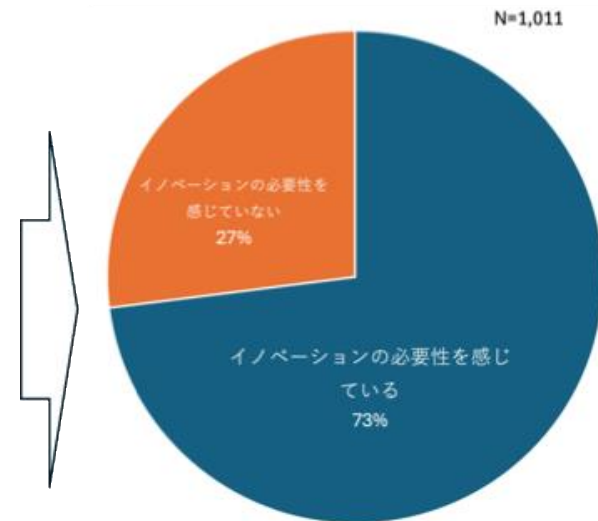
検査・分析が必要

2014年調査

2023年調査



資料：中小企業庁委託「市場開拓」と「新たな取り組み」に関する調査
(2014年、三菱UFJリサーチ&コンサルティング(株))



出典：中小企業庁委託「中小企業のイノベーションの現状に関する調査」
(2023年、三菱UFJリサーチ&コンサルティング(株))

イノベーションの仕組み について

イノベーションとは

イノベーション・マ
ネジメントシステム
とは

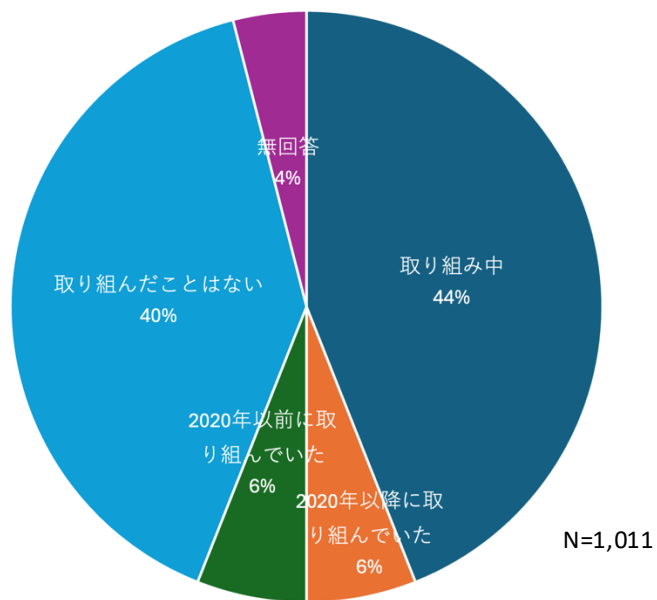
わかっていてもでき
ない理由

検査・分析が必要

わかっていてもできない理由

多くの企業は、イノベーションに取り組みはじめています。

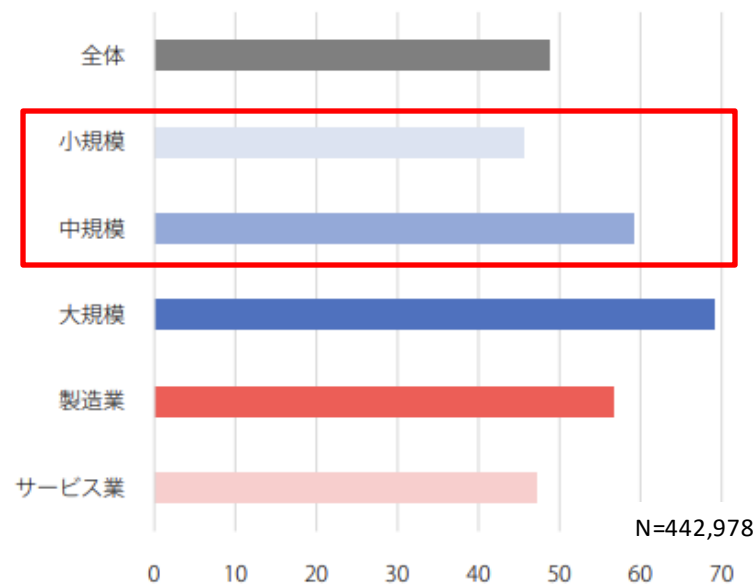
イノベーション活動に取り組んでいるかどうか



出典: 中小企業庁委託「中小企業のイノベーションの現状に関する調査」
(2023年、三菱UFJリサーチ&コンサルティング(株))

(参考)同種の調査における結果

イノベーション活動実行企業率(2017年-2019年)
実行企業率(%)(全企業に対する割合)



出所: 全国イノベーション調査 2020年調査、科学技術・学術政策研究所 統計表16

イノベーションの仕組み について

イノベーションとは

イノベーション・マ
ネジメントシステム
とは

わかっていてもでき
ない理由

検査・分析が必要

わかっていてもできない理由（代表例：6つ）

イノベーション＝特別な活動 という誤解

イノベーション＝新しい発明（研究開発）

イノベーション＝新事業



目的が、利害関係者に価値を届けるではなく、新規事業を立ち上げる、新しい技術や製品を生み出す研究開発などに変わってしまう場合がある。

属人的成功体験 への依存

うちには、うちのやり方がある（拒否）
このやり方で成長できた（固執、依存）



自分たちのやり方＝過去の成功体験に固執し、時間もかかり、成果も出せないジレンマに陥ってしまう。

わかっていてもできない理由

経営層の「戦略的整合」の欠如

短期的成果を重視し、場当たり的になる
方針・戦略がコロコロ変わる



中長期的な戦略よりも短期の売上、利益を確保を重視することで

- 1) 方針や戦略、目標がコロコロ変わる（＝混乱）
- 2) 中長期的な目標を達成できなくなる。（＝衰退）

組織文化：失敗回避と評価制度の問題

言われたことをすれば、責任を問われない
余計なことをして、怒られたいくない



マニュアル、指示に従って仕事をすれば、責任に問われない。
（＝授業員の思考停止）

失敗したら減点され、異動されたり、給与も下がる。
（＝失敗への恐怖）

イノベーションの仕組み について

イノベーションとは

イノベーション・マ
ネジメントシステム
とは

わかっていてもでき
ない理由

検査・分析が必要

わかっていてもできない理由

投資を拒み、コスト重視 の問題

教育やコンサルには投資はするが、
仕組み化するためのシステムや制度には投資
しない



いま困っていないものに対して、
優先順位が低い（＝短期視点の弊
害）

制度や仕組みは、現場が作るもの
で経営は、方針・戦略を決めるも
の（＝支援がない）

閉じたイノベーション文化 の問題

「技術・情報は社内で守るもの」という意識
が強く、共創はするが重要情報は出せない。

インサイダー、情報漏洩などの法律違反が不
安（＝失敗への恐怖）



共創型のイノベーションに対して、
どこまで情報開示したらよいかわ
からない（＝経験不足）

悪用されたり、自身が知らずに法
律違反をしてしまうことへの恐怖

イノベーションの仕組み について

イノベーションとは

イノベーション・マ
ネジメントシステム
とは

わかっていてもでき
ない理由

検査・分析が必要

わかっていてもできない理由

うちは大企業だから・・・

うちには関係ない

うちはワンマン経営だから・・・

イノベーションとは、ほど遠い
会社だから・・・

本業が忙しいので無理

自分たちはできている！
もうやっている！
(自画自賛)

いまは特に必要としていない

自分が考えることではない
(ほとんどの従業員がそう思っている)

ISOは面倒だから。やり
たくない

イノベーションの仕組み
について

イノベーションとは

イノベーション・マ
ネジメントシステム
とは

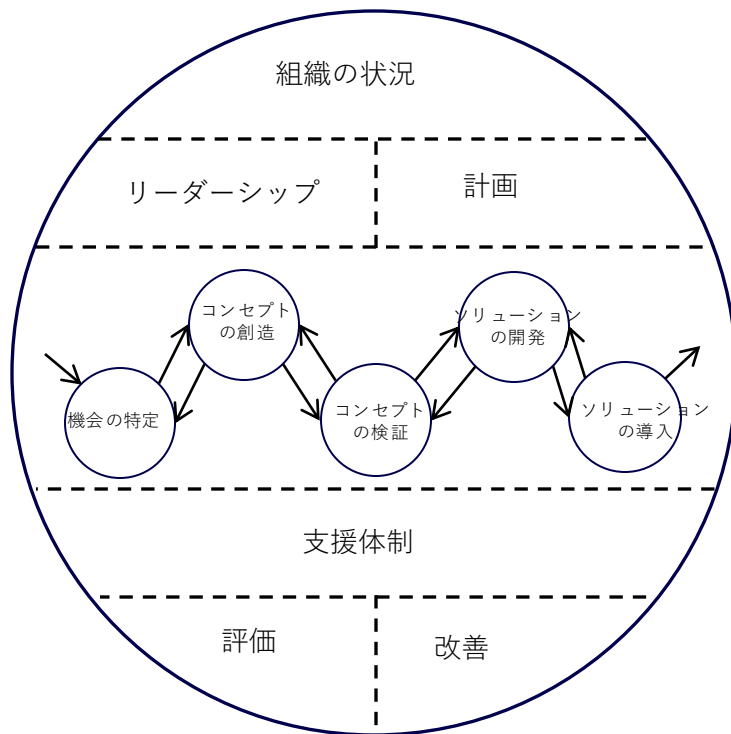
わかっているもでき
ない理由

検査・分析が必要

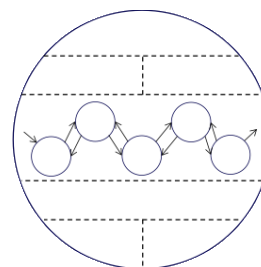
検査・分析が必要

自動車に車検があるように、安全に安定して自動車が動くのかを定期検診するように、国際標準規格：ISO56001（イノベーション・マネジメントシステム）の審査によって検査を行うことが大事です。

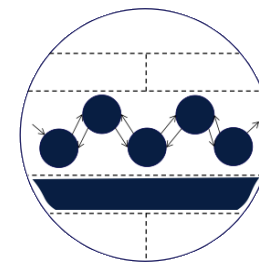
ISO56001アセスメントサービスより、現在の状況が可視化されます。（2026年リリース予定）



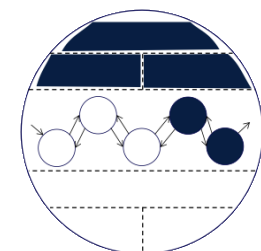
ISO56001体系図



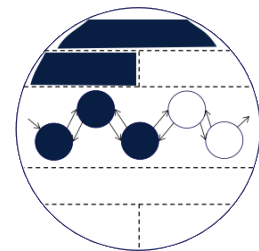
虚無型



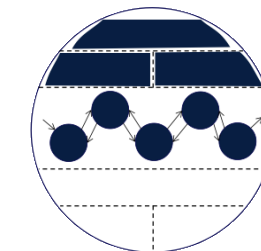
組織非成長型



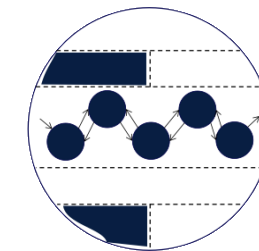
組織崩壊型



場当たりの



形骸化



現場批判型

会社紹介

自己紹介

本セミナーの目的

イノベーションの仕組みについて

効果的なイノベーション・マネジメントシステム

IDEASCALEについて

事例

当社のサービス

概要図

イノベーション管理
ツールとは

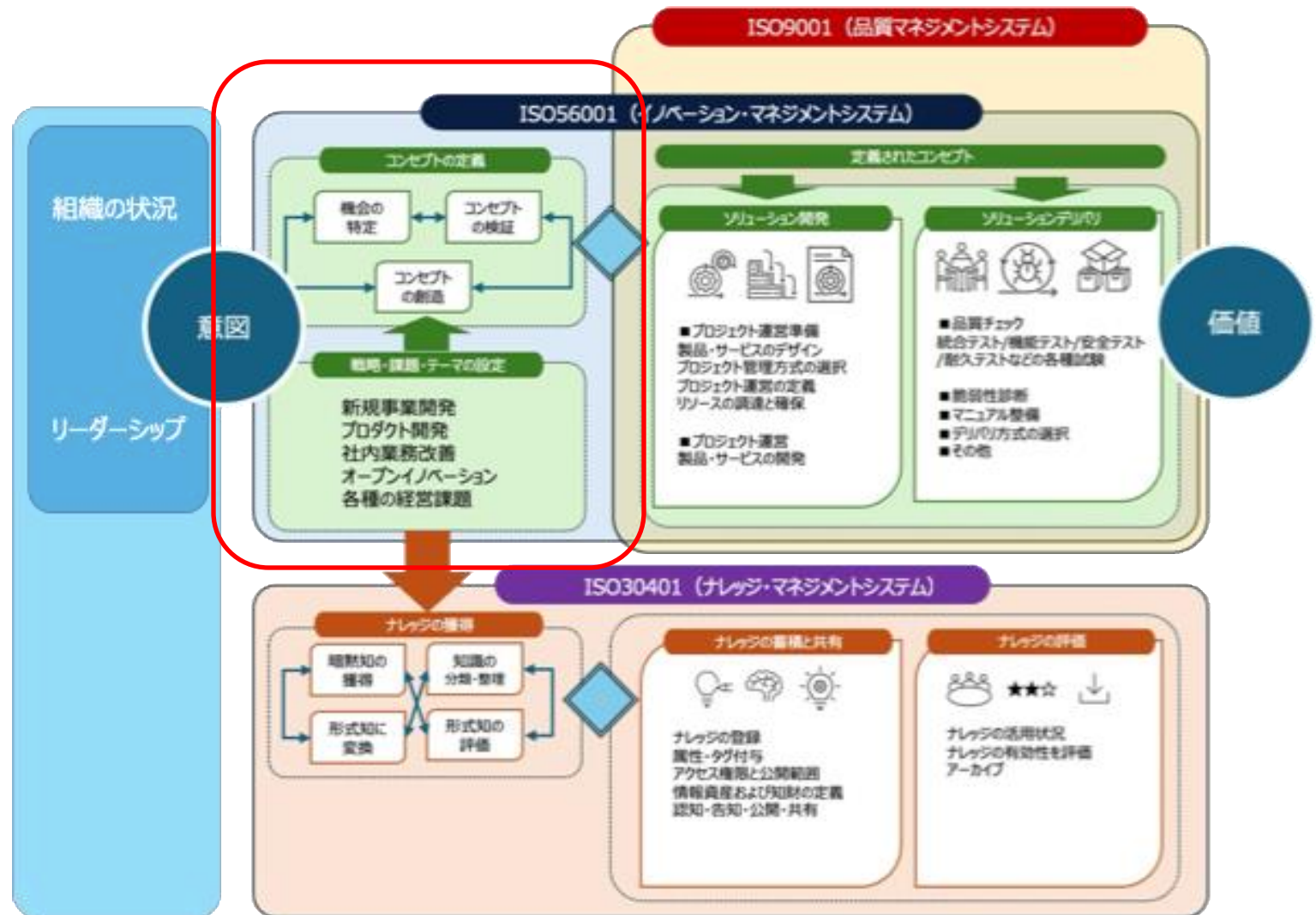
どんな方法があるの
か？

採用した方法

効果的なイノベーション・マネジメントシステムとは（概要図）

効果的なイノベーション・マネジメントシステムは、下図となります。

ISO認証は必須ではありません。組織として優先順位を決めて足りない部分を強化してください。



概要図





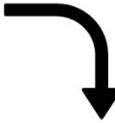


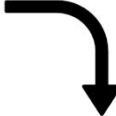


イノベーション管理
ツールとは

どんな方法があるの
か？

採用した方法

イノベーション管理ツールとは

イノベーション管理ツールとは、下図の部分に適用するソリューションです。

	人物像	アイデア獲得	チームづくり	プランニング	レビュー	意思決定
アイデア 投稿者 閲覧者 	一般社員、 もしくは パートナー	アイデア獲得 アイデア投稿 ↓ 意見を元に アイデアを改善  意見、投票 ↓ 元アイデアに フィードバック 	プランニングの ためのチームを 作る	フレームワーク を適用し、 アイデアを プランへと変換 		
レビューア 	役員、 コンサルなど				プランを レビュー 	
意思決定者 	組織の 意思決定者					プランを 決定、実行 予算割り当て 

会社紹介

自己紹介

本セミナーの目的

イノベーションの仕組みについて

効果的なイノベーション・マネジメントシステム

IDEASCALEについて

事例

当社のサービス

イノベーション管理ツール『IDEASCALE』の歴史

IDEASCALEの歴史

IDEASCALEの評価



オバマ米国大統領のイノベーション政策によって誕生



- カリフォルニア
- ワシントンDC
- バングラディシュ
- カナダ
- ドイツ
- シンガポール
- 日本



イノベーション管理ツールの実質的なスタンダード

IDEASCALEの歴史

IDEASCALEの評価

特徴的な機能



IdeaScaleは、Gartner Peer Insightsにおいて、Customer Choice Awards 2024を受賞しました。

Gartner Peer Insightsとは、エンドユーザーがソフトウェアやITサービスに関するレビューや評価を行うためのオンライン・プラットフォームです。**Gartner（ガートナー）**社が提供しており、実際のユーザーからのフィードバックをもとに製品やサービスの評価を確認できます。

Customer Choice Awardsとは、Gartner Peer Insightsでユーザーから特に高評価を受けたIT製品やサービスを表彰する賞となります。

アイデアを出しやすくする仕組み

IdeaScaleは、組織内外のメンバーからのアイデアや意見を出しやすくするための数々の機能が採用されています。

イノベーション活動の認知促進するランディングページ



アイデアの説明文を生成する生成AI

良い文章表現ができない、伝わる文章になっているか不安など文章による説明が苦手なユーザーには生成AIが文章生成を行います。

文脈で個人が特定されるのが不安、わかりにくい文章だと指摘されるのが不安という場合、生成AIに文章を作成してもらいましょう。

具体的なテーマ・課題を明確にするキャンペーン

テーマや課題、範囲を曖昧にすると目的や価値まで曖昧になる場合があります。

イノベーション方法論では、アイデアを収集する場合はテーマを明確にすると健全なディスカッションが行われ、多くのアイデアが収集できるとされます。

活発なコミュニケーションを推進

- 言語翻訳機能
- 禁止用語定義（コンプライアンス）
- 匿名投稿
- GDPRへの許諾
- アイデアなど知財に関する権利許諾

IDEASCALEの歴史

IDEASCALEの評価

特徴的な機能

アイデアを具体的なビジネスプランに変換

IdeaScaleは、知的創造プロセスをワークフロー化する機能が提供されています。

簡単にアイデアを登録できるIdeaScale（アイデアスケール）はアイデア収集を活発にします。収集したアイデアをみんなで投票して選定されたアイデアにはチーム編成して具体的に検討しましょう。

標準提供されるテンプレート、

- COSTAR
- リーンビジネスキャンパス
- ビジネスモデルキャンパス
- ジョブ理論
- SWOT分析

の5つのテンプレートが用意されており、独自のチェックポイントや自動化ルールなども設定することで、アイデアの目的や価値を明確（証明）にして承認レビューまで行う事が可能です。

ステージから次のステージに移行するための自動化も可能です。



ISO56001に合わせたワークフローの例
テンプレートをもとにカスタマイズしたもの

IDEASCALEの歴史

IDEASCALEの評価

特徴的な機能

イノベーションの状態を見える化する分析レポート機能

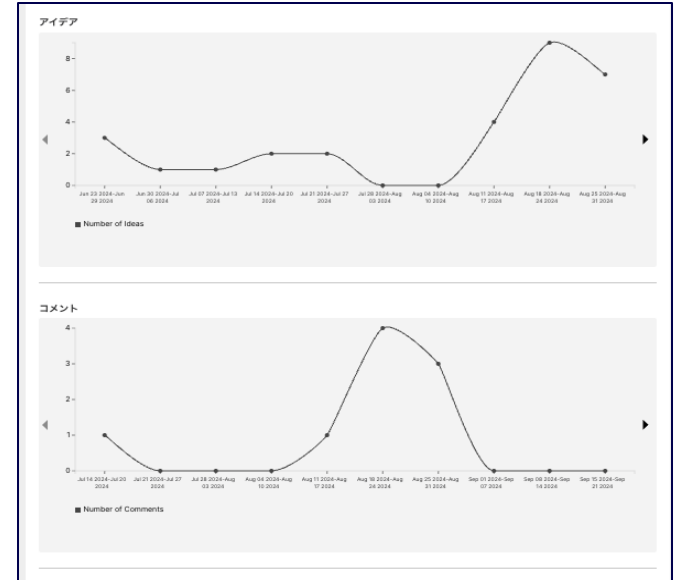
イノベーション・ポートフォリオの例：単一の活動、複数の活動を横断して活動やROI（成果）などが表示

IDEASCALEの歴史

IDEASCALEの評価

特徴的な機能

AI機能



ChatGPT連携やテキストマイニング機能によってアイデアの価値を最大化



TESLA（テスラ）社で採用され、活用されているChatGPT機能。

複数のアイデアから生成AIで新しいアイデアを創出したり、漠然としたアイデアを整理・要約したりなどアイデアの洗練を支援します。

蓄積したアイデアからテキストマイニングで関連性のあるものを抽出し、アイデアのリサイクルを行うことも可能。

匿名アイデア投稿では、文脈で個人特定の不安がある場合、生成AIが文脈を変更することが可能です。

The screenshot displays a chat interface where a user asks for help explaining their idea. The AI responds with advice on how to present ideas to the team. Below the chat is a '提出フォーム' (Submission Form) with fields for language, campaign, title, and description. A yellow callout box points to the AI's response, stating: 'ChatGPTを活用して課題やアイデアを深掘り' (Use ChatGPT to dig deeper into issues and ideas). Another yellow callout box points to the '説明*' (Description) field, stating: 'アイデアとして使用' (Use as an idea).

蓄積したアイデアや情報から 新しいインサイトを得る

Community

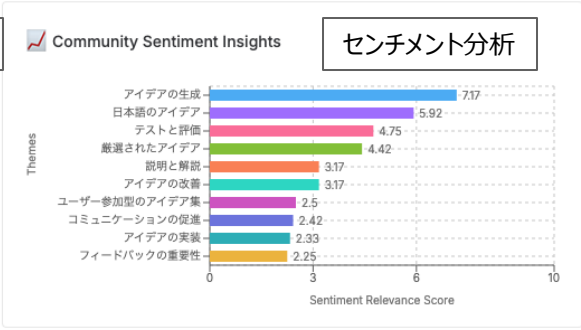
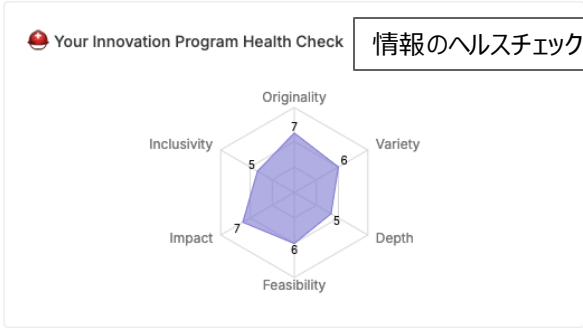
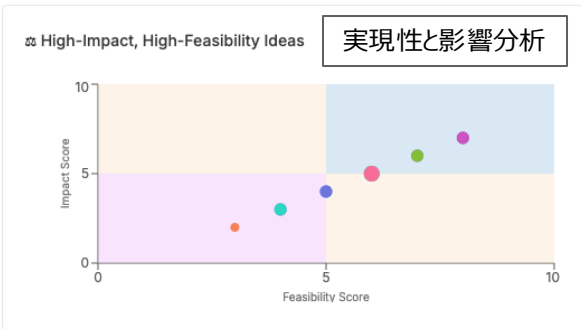
NEW BUSINESS Creation Center

Campaign

生成AIがファシリテートしたアイデアや課題抽出の仕組み +2 more

Date Range

21 Jan 2024 - 21 Jan 2025



トレンド分析

テキストマイニングによって、最も多い語句をビジュアル表示します。表示された語句をクリックすると対象となる情報が表示されます。

ヘルスチェック

登録された情報に対して、独自性、多様性、深度、実現性、影響、包括性の視点のレーダーチャート表示を行い、バランスを確認できます。

実現性と影響分析

Y軸：実現性、X軸：影響度によって、情報の位置をグラフ化します。もっとも実現性があり、影響度が高いものに高い優先順位をつけると効果的です。

センチメント分析

センチメント (sentiment) とは、ある状況や出来事、意見に対する見方や態度、感情、心情、感想など解析することです。センチメントは、市場や商品、企業、ブランドなどに対して使われます。

キャンペーンと連携したオンラインホワイトボードをユーザー無制限で利用

イノベーション、新規事業、改善などのテーマごと、もしくはチームごとにボードを作成して共同コラボレーションによって情報整理、新しい価値の創出を行います。数多くのテンプレートによって、さまざまな用途に活用できます。



オンラインホワイトボード機能はイノベーション管理ツール『IDEASCALE』を利用するすべてのユーザーが利用できます。IDEASCALEはユーザー無制限のライセンスであるため、チームだけでなく企業全体、関連会社など大規模で定額で利用可能です。

本機能は、現在英語版のみとなっています。現在、日本語化を準備中です。

TeamsやSlackのチャンネルでディスカッションしたアイデアや情報を、そのままIdeaScaleに登録することができます。



IDEASCALEの歴史

IDEASCALEの評価

特徴的な機能

AI機能

その他

Screenshot of Microsoft Teams chat interface showing IdeaScale app integration. The chat window displays a search bar for "アプリの検索" (Search for apps) with results for Excel, IdeaScale, and Power BI. A "Submit Your Idea" form is overlaid on the chat, showing fields for title, description, and category. The title is "営業資料の保存先を統一する" (Unify business data storage locations). The description is "営業資料がバラバラに保存されているため、最新資料がどこにあるか不明です。保存先と更新方法をルール化してチームとして生産性を向上させる仕組みを作る" (Because business data is stored in various places, it is unclear where the latest data is. We will create a system to improve productivity by teaming up to create rules for storage locations and update methods). The category is "知識・ナレッジ, 知識・ナレッジ" (Knowledge, Knowledge). A "Submit" button is visible. A notification at the bottom says "① 応答がアプリに送信されました" (① Response sent to the app).

会社紹介

自己紹介

本セミナーの目的

イノベーションの仕組みについて

効果的なイノベーション・マネジメントシステム

IDEASCALEについて

事例

当社のサービス

事例公開

米国連邦政府

EAスポーツ

楽天

コーセー

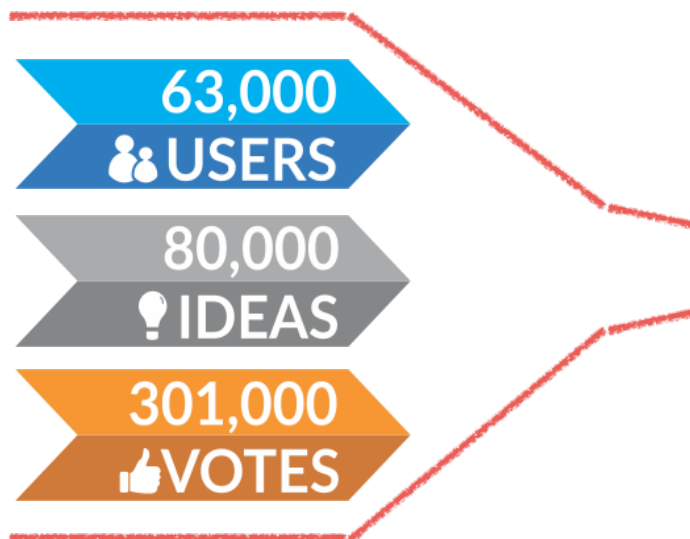
住友商事
マシネックス様

システムコン
シェルジュ

事例・活用例 米国連邦政府 経費削減プログラム



- 2009年当時、米国は\$1.4Tの負債を計上
- オバマ大統領はクラウドベースで連邦政
- 職員からの意見、アイデアを広く収集
- 政府の無駄を省き、コスト削減実現



2012 winning idea cut travel costs for senior employees by 50%

4年間で、81万件のアイデアが採用され、数百億円の経費削減が実現。

“IdeaScaleはホワイトハウスからの大量のデータを効率よく処理してくれました。”

Lena Trudeau, National Academy of Public Administration

事例公開

米国連邦政府

EAスポーツ

楽天

コーセー

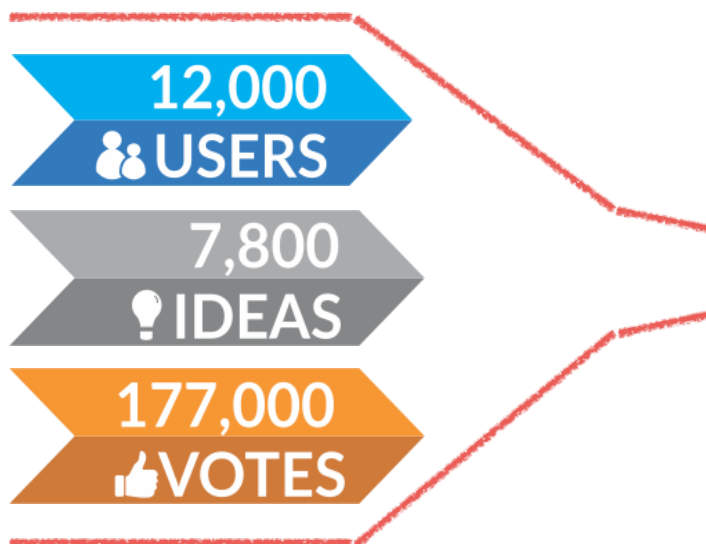
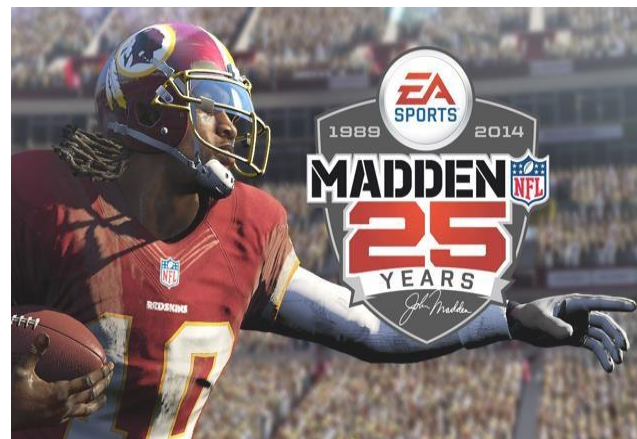
住友商事
マシネックス様

システムコン
シェルジュ

事例・活用例 新製品開発



EA社はスポーツビデオゲームの世界で1位企業です。自社で管理するコミュニティ“Game Changer”を活用して、ユーザの声を取り入れた製品開発を実現しました。



ゲームのスーパーユーザーから、アイデアを出してもらい、素晴らしいスポーツゲームを作り、売り上げを最大限にすることに成功。

“Ideascaleを採用して、アイデアを顧客から採用。大きな成果を上げることができました。”

Steve Kwan, UX Design, EA Sports

事例公開

米国連邦政府

EAスポーツ

楽天

コーサー

住友商事
マシネックス様

システムコン
シェルジュ

事例・活用例

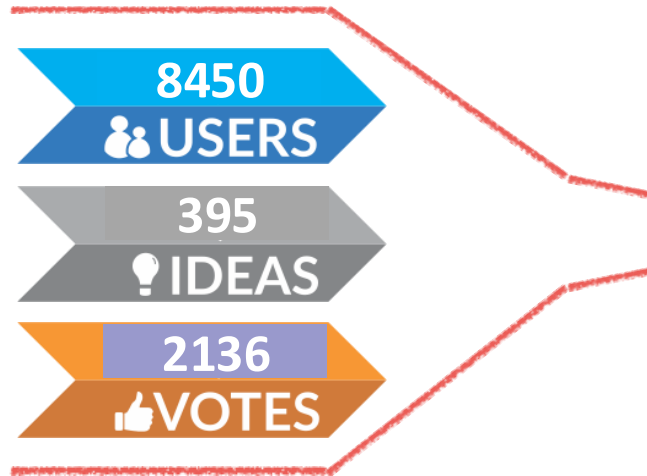
楽天イノベーション事業プログラム(ボトムアップのイノベーションの仕組み)



- 2016年に60人でスタート、最初の3ヶ月で86個のアイデアを作成
- イノベーションアンバサダープログラムとして、1年半後に人事評価の5%を反映
- 2017年まで新規プロダクト5個サービス開始
- 2016The worlds Most innovative company Rank 17(前年度ランク外からランクイン)



The worlds Most innovative company Rank 17
15% Sales growth through innovation
<http://www.forbes.com/innovative-companies/list>



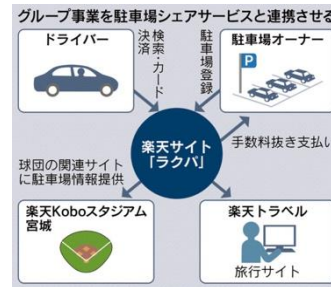
そら楽



ラクテンシャ



楽天チェック



楽天VR

ラクパ

事例公開

米国連邦政府

EAスポーツ

楽天

コーセー

住友商事
マシネックス様

システムコン
シェルジュ

事例・活用例 世界中からのフィードバックを製品開発に活用

株式会社コーセー様



- 1ヶ月半で960人の参加、600個以上のアイデアを獲得
- 自社プロダクトのフィードバックを現場から得ることで、商品開発に活用
- 世界各地の美容部員ネットワークを活用し、より顧客にマッチした新商品を開発
- 海外拠点からも参加があり、現地の法律事情のコメントをもらう



事例公開

米国連邦政府

EAスポーツ

楽天

コーセー

住友商事
マシネックス様

システムコン
シェルジュ

事例・活用例 新規事業とイノベーション組織・文化の醸成

住友商事マシネックス株式会社様

住友商事マシネックス

- 新規事業を作るプロセスをデザイン
- ビジネスイノベーションに対する現在の地の把握と見える化
- 経営層のイノベーションに対するビジョンを見える化
- 現状を基に、イノベーション人材の育成を支援



事例公開

米国連邦政府

EAスポーツ

楽天

コーセー

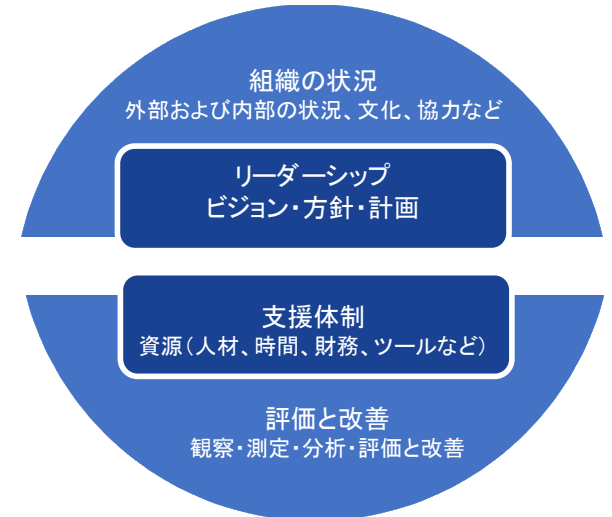
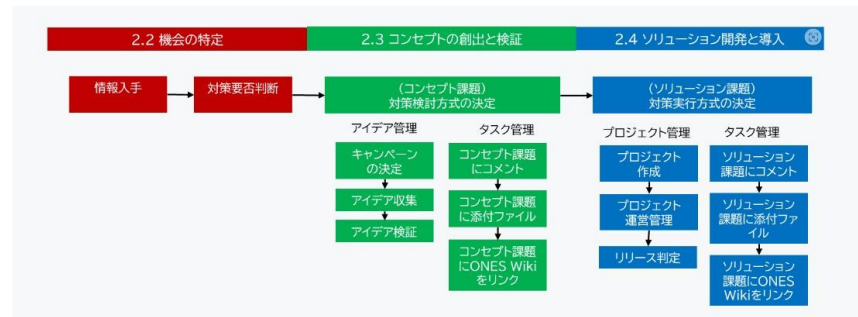
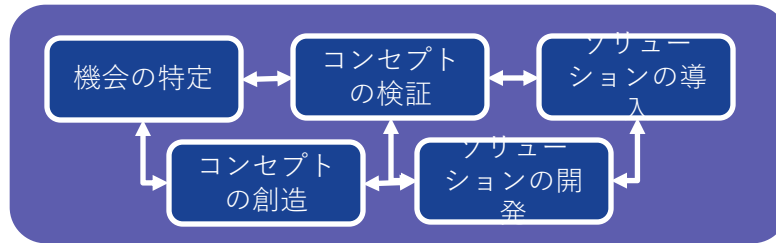
住友商事
マシネックス様

システムコン
シェルジュ

事例・活用例

日本初のISO56002認証取得を実現した 事業再構築と継続的な価値創出の仕組み作り

事業継続を行うために、組織が自律的に顧客への価値を創造できる仕組みと文化を醸成する。
ISO 5 6 0 0 2（イノベーション・マネジメントシステム）を引用した仕組み



- 規定・ルール・ガイドライン
- 人事評価制度
- マネジメントシステムの仕組み
- 力量定義と教育カリキュラム

これらの仕組みを3ヶ月で構築しました

事例公開

主な海外実績

主な国内実績

主な海外実績

テクノロジー、メディア、エンターテインメント

- お客様のフィードバックから新製品開発



製造

- 社員のアイデアを取り入れて製品を改善



教育

- 教授・学生・保護者の声を元に キャンパスライフを改善



ヘルスケア

- 顧客満足度を向上を実現する 創造的な企業文化を実現



旅行・レジャー

- 顧客のフィードバックを元に、コスト削減と満足度向上を同時に実現



監査・金融・保険

- 社員のフィードバックからコスト削減



政府 行政機関

- 市民と職員の意見を反映した 公平な組織文化を確立



事例公開

主な海外実績

主な国内実績

主な国内実績


みずほ情報総研

 三井住友銀行





 idemitsu


innovative spirit


高砂熱学






Daiichi-Sankyo


K O S É

 JX石油開発









 HENNGE



 NS Solutions


三フレット

 住友商事マシネックス

心に届く旅
 阪急交通社
Direct to your heart

 ipet アイペット
損害保険株式会社


JR東日本

会社紹介

自己紹介

本セミナーの目的

イノベーションの仕組みについて

効果的なイノベーション・マネジメントシステム




IDEASCALEについて

事例

当社のサービス

株式会社システムコンシェルジュの製品・サービスメニュー

ICTツールをベースにした導入支援サービス

	イノベーション管理	ナレッジ管理	プロジェクト管理
方法論	国際標準規格 ISO56002/ISO56001 Global Innovation Management Institute	国際標準規格 ISO30401/ISO42001 日本文書情報 マネジメント	アジャイル・スクラム ウォーターフォール SAFeなど
ITツール			
支援	導入支援サポート 運用支援サポート	導入支援サポート 運用支援サポート	導入支援サポート 運用支援サポート
力量・教育	イノベーション人材育成研修 デザイン思考研修 イノベーション・ワークショップ ISO56002概論 IdeaScale基礎	ISO30401概論 ONES Wiki基礎	アジャイル・スクラム研修 ウォーターフォール研修 ONES Project基礎

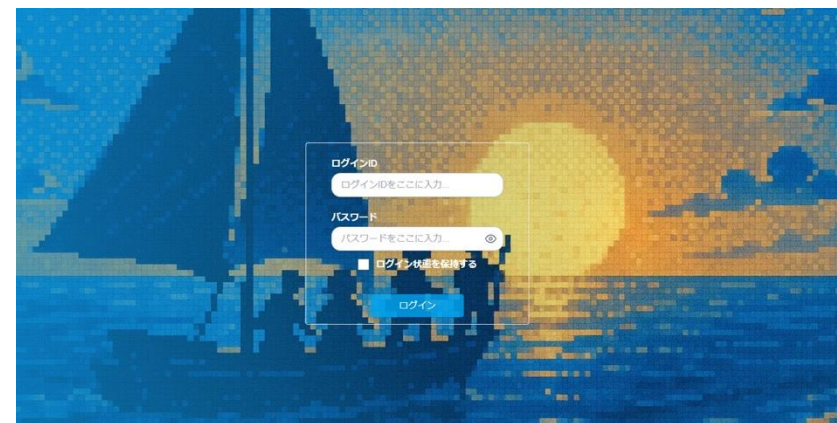
株式会社システムコンシェルジュの製品・サービスメニュー



手軽に楽しくゲーム感覚でビジネス活用できるアイデアを集める

IDEAQUEST（アイデアクエスト）は、規定やルール、マニュアルなどで活動するような堅苦しい仕組みではなく、ゲーム要素を取り入れて手軽に楽しくアイデア出しができるアイデア管理ツールです。

ISO56001（イノベーション・マネジメントシステム）を実践する要素も取り入れているため、ゲーム感覚でありながら本格的なイノベーションの仕組みを構築します。



株式会社システムコンシェルジュの製品・サービスメニュー

主要機能

クエスト管理

目的・テーマを設定したクエストを作成。目的・テーマだけでなく報酬、難易度（クエストレベル）、期限、クエストオーナーなども設定して公開

パーティ管理

クエストに挑むパーティメンバーを管理。クエストの内容に応じてパーティを組んだり、自由に参加したり、仲間と一緒にクエストにアイデアを出してください。

アイデア管理

クエストの目的・テーマに対してアイデアを登録します。アイデアの評価によって報酬と経験値、称号ランクなどがカウントアップされます。アイデアに対して、「いいね」や「投票」ができます。

世界管理 (システム管理)

世界管理（システム管理）は、この世界に所属する人々（メンバー）を管理します。アカウント管理、パスワードポリシー、称号ポリシー、通貨ポリシーなどの設定を行います

プロフィール管理

メンバーのプロフィールを設定します。アバター、メンバー名、パスワード、メッセージ、職業、称号ランク、経験値などが表示され、ステータス更新によってランクアップします。

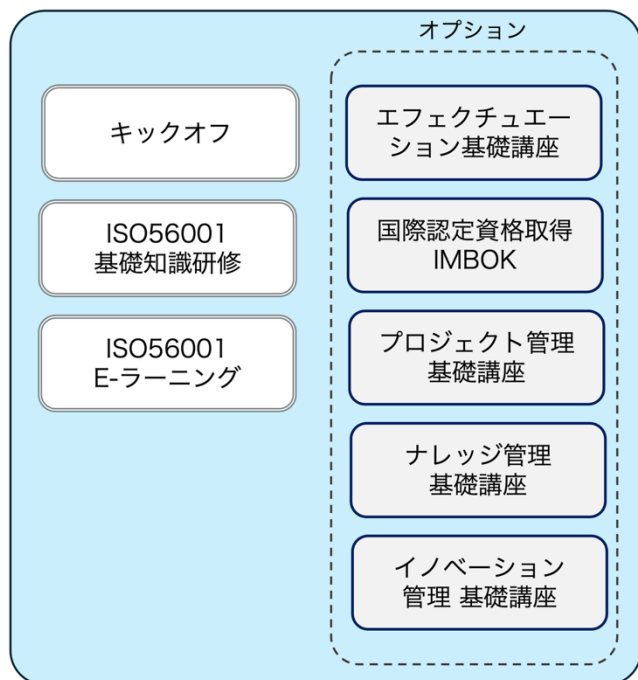
レポート

世界（システム）内のクエストの活動状況やアイデア状況などを「知の書（インベションの種）」としてレポート出力します。

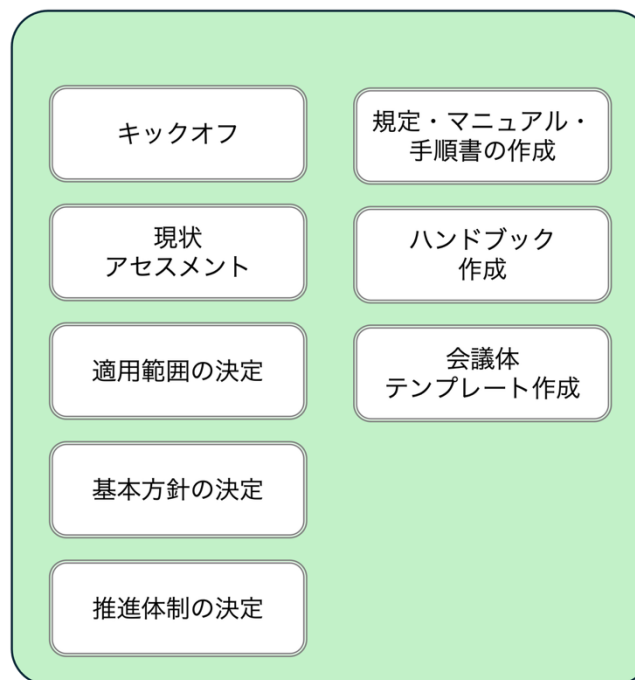
株式会社システムコンシェルジュのサービスメニュー

ISO56001 / ISO56002およびイノベーション関連支援サービス

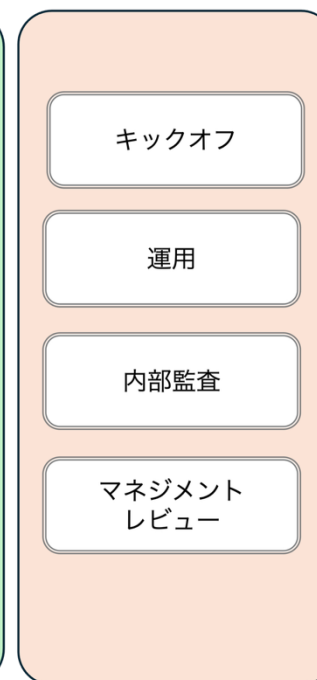
スタートアップ



導入支援サービス



運用支援サービス



株式会社システムコンシェルジュのサービスメニュー

イノベーション・マネジメント支援サービス

月額20万円からスタートできる

サービス項目	内容	料金（税別）	備考
IMS支援：スターター（基本）	支援回数：月2回 ※1回あたり2時間程度 WEBシステムによるQA対応（月10件まで）	200,000円/月額	原則、オンライン対応でのコンサル支援付き オンサイト対応の場合は別途調整となります。 必要に応じて、資料・テンプレートを提供します。 最小契約期間：3ヶ月
IMS支援：スターター（追加）	追加のオンライン支援（4時間ごと） WEBシステムによるQA対応（月5件まで）	100,000円/月額	基本契約に追加する。 基本契約期間内で、必要な月に追加可能
IMS支援：基礎知識研修	ISO56001およびISO56002の基礎知識を学ぶ研修	600,000円/開催	オンライン開催を想定（オンサイト対応の場合は別途調整） 1開催あたり5時間を想定/参加人数5名まで（1名単位で追加可能） 追加1名あたり80,000円（税別）となり、最大10名まで 研修テキスト、ChatGPTチャンネルの案内などのサービス提供あり
eラーニング（提供予定）	テキスト+動画で学べるオンライン講座 コースごとのサブスクリプション	月額 10,000～20,000円	各コースごとに契約、順次リリース予定

※導入支援サービス、および運用支援サービスについては、組織の規模や要件に応じて個別見積となります。

11月から価格変更となります。


情報公開サイト: イノベーション・ワールド

INNOVATION world
新時代のイノベーションとDXの最新情報メディア

記事一覧 特集 カテゴリ ABOUT 検索 [コンシェルジュへ相談](#)

ALL


すべての記事



変化をチャンスに変える働き方改革 ——イノベーションの土台づくり

働き方改革を単なる労働環境の改善ではなく、イノベーション創出の基盤と位置づけ、その関係性を解説します。柔軟な働き方や多様性の促進、心理的安全性の向上が組織と個人の創造性を高め、新たな価値を生み出す環境づくりにどのように貢献するかを、具体的な事例を交えて紹介しています。


INNOVATION WORLD 編集部
2025.04.14 #働き方改革



ビジネスコンポーザビリティ：変化に強い企業をつくるイノベーション戦略


企業が持続的に成長するためには「柔軟に再構成できる組織」が必要です。この記事では、Gartnerの「ビジネス・コンポーザビリティ」概念を中心に、変化に強い企業を実現するための戦略と実践ステップを解説。ISO 56001 / 56002との関係や、AmazonやMicrosoftの事例、日本企業の課題とその解決方法を示しています。変化をチャンスに変える組織づくりのヒントを提供しています。

INNOVATION WORLD 編集部
2025.04.10 #ISO56001関連 #人材育成と組織開発




ISO56002 (イノベーション・マネジメントシステム) の認証を取得した企業

INNOVATION WORLD 編集部




(開催終了) 3月4日セミナー開催 | 新たなビジネスを確実に生みスケールさせる方法

INNOVATION WORLD 編集部




4月16日セミナー開催 | はじめてのイノベーション・マネジメントシステム 国際標準規格: ISO56001 / ISO56002の基礎を知る

INNOVATION WORLD 編集部




イノベーション活動に対する評価の基本的な考え方

INNOVATION WORLD 編集部



2024年イノベーションに関する調査レポートを公開

INNOVATION WORLD 編集部



はじめてのイノベーション・マネジメントシステム

国際標準規格: ISO56001 / ISO56002 の基礎を知る

私たちの知識・ノウハウを公開

<https://innovation.systemcon.co.jp/>

株式会社システムコンシェルジュへの相談



<https://systemcon.co.jp/contact/>

03-5577-5735

innovation@systemcon.co.jp

株式会社システムコンシェルジュ
イノベーション推進室 大塚



イノベーションによる価値を創造する
業務改善型ジェネレーティブプロバイダー